

【 Yellow Cup 2019 】

2019年1月4日～1月6日 開催地:スイス

試合結果報告 1 月 5 日 (土)

JPN	VS	TUN
15	前半	17
16	後半	17
31	合計	34

個人得点

名前	得点	合計
10 杉岡尚樹	1	1
11 東長濱秀希	4	4
13 笠原謙哉	1	1
15 部井久 アダム 勇樹	5	5
16 甲斐昭人		0
18 成田幸平		0
19 徳田新之介	6	6
20 渡部仁	3	3
21 土井レミイ杏利	2	2
24 信太弘樹	2	2
25 元木博紀	3	3
26 久保侑生		0
27 玉川裕康		0
29 岡元竜生	2	2
31 吉野樹		0
33 東江雄斗	2	2
		31

戦評

イエローカップ2戦目はアフリカチャンピオンとして世界選手権にも出場するチュニジアとの対戦であった。

力強くロングシュートを打ち込んでくる相手に対し、ディフェンスやGK共に対応できず、失点の多い展開となった。しかし、部井久のロングシュート、元木の速攻やカットインでテンポよく加点していき、2点のリードを保ちながら試合が進んでいった。しかし、20分過ぎからのシュートミスの中に69番Jaballahのポストシュートなどで逆転を許し、厳しい展開になるところを土井のサイドからの得点で食らいつき、何とか15対17の2点差で折り返した。

後半5:1DFでスタートした日本は、チュニジアの強引なロングシュートで失点するも、相手チームのミスを誘う展開を作り、渡部のロングシュートや岡元のポストシュートで反撃、1点差で付いていく流れをつかんだ。しかし中盤、速攻チャンスでのパスミスやシュートミスで得点が止まった間に失点し、残り7分でこの試合最大の6点差に広がった。その後東長濱や東江の攻撃で反撃するも、90番Chouirefのポストプレーを許し、追いつくことができず、34対31の3点差で終了した。

ディフェンスとGKの連携で相手を苦しめることができず、失点の多い展開となったが、得点のバリエーションが豊富になり、相手に流れを渡さない粘り強さは発揮された試合であった。

報告記入者 : 舍利弗 学